

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-537974(P2004-537974A)

【公表日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2002-571810(P2002-571810)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/18

C 1 2 N 7/00

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月1日(2005.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

H I V e n v、g a g、およびp o l 遺伝子、またはそれらの改変遺伝子を発現するウイルスであって、同ウイルスからの発現によってH I V E n v、G a g、およびP o l 抗原を産生する組換えM V A ウイルス、および薬学的に許容可能なキャリアを含む薬学的組成物であって、

前記H I V e n v 遺伝子は、g p 1 2 0、ならびにg p 4 1の膜貫通および外部ドメインから構成されるが、g p 4 1の細胞質ドメインの一部またはすべてを欠失しているH I V E n v タンパク質をコードするように改変されている、薬学的組成物。

【請求項2】

前記H I V p o l 遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、逆転写酵素およびインテグラーゼを失活するように改変されている、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項3】

前記H I V e n v、g a g、もしくはp o l 遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、クレードAから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項4】

前記H I V e n v、g a g、もしくはp o l 遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、クレードBから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項5】

前記H I V e n v、g a g、もしくはp o l 遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、

クレードCから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項6】

前記HIV env、gag、もしくはpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、クレードDから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項7】

前記HIV env、gag、もしくはpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、クレードEから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項8】

前記HIV env、gag、もしくはpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、クレードFから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項9】

前記HIV env、gag、もしくはpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、クレードGから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項10】

前記HIV env、gag、もしくはpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、クレードHから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項11】

前記HIV env、gag、もしくはpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、クレードJから採取される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項12】

前記HIV env、gag、もしくはpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、MVAゲノム内の欠失IIIの部位に挿入される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項13】

前記HIV env、gag、もしくはpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子は、H5様初期/後期ワクシニアウイルスプロモーターの転写開始調節下にある、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項14】

組換えMVAウイルスは、さらなるHIV遺伝子またはその改変遺伝子をさらに発現することで、HIV抗原を生産する組換えMVAウイルスであって、前記さらなるHIV遺伝子は、vif、vpr、tat、rev、vpu、およびnefからなる群から選択されるものである、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項15】

配列番号2、配列番号3、配列番号4、および配列番号5に記載の塩基配列を含む、MVA組換えウイルスMVA/HIV48。

【請求項16】

配列番号1に記載の塩基配列を有するプラスミド移入ベクターpLW-48。

【請求項17】

HIV env、gag、およびpol遺伝子を除いたpLW-48（配列番号1）の配列を有するプラスミド移入ベクター。

【請求項18】

前記HIV env、gag、およびpol遺伝子は、別のクレードから採取された配列を有するpLW-48（配列番号1）。

【請求項19】

配列番号10を有するm7.5プロモーター、配列番号2を有するPsyn IIIプロモーター、配列番号11を有するPsyn IIIIプロモーター、配列番号12を有するPsyn IVプロモーター、および配列番号13を有するPsyn Vプロモーターからなる群から選択されるプロモーターを含むボックスウイルス。

【請求項20】

霊長目動物（ヒトを除く）においてHIV Env、Gag、またはPol抗原に対するCD8⁺T細胞免疫応答を追加免疫する方法であって、請求項1～15のいずれか一項

に記載の組成物を該霊長目動物に投与することを含み、それにより該霊長目動物における予め初回刺激された抗原に対するCD8⁺T細胞免疫応答が追加免疫される方法。

【請求項21】

霊長目動物（ヒトを除く）においてHIV Env、Gag、またはPol抗原に対するCD8⁺T細胞免疫応答を誘導する方法であって、請求項1～15のいずれか一項に記載の組成物を該霊長目動物に投与することを含み、それにより該霊長目動物における抗原に対するCD8⁺T細胞免疫応答が誘導される方法。

【請求項22】

霊長目動物（ヒトを除く）においてHIV Env、Gag、またはPol抗原に対するCD8⁺T細胞免疫応答を誘導する方法であって、前記抗原をコードする核酸を含む初回刺激用組成物を該霊長目動物に投与し、続いて請求項1～15のいずれか一項に記載の追加免疫用組成物を該霊長目動物に投与することを含み、それにより抗原に対するCD8⁺T細胞免疫応答が誘導される方法。

【請求項23】

前記組換えMVAウイルスの投与は無針式注射によるものである、請求項20～22のいずれか一項に記載の方法。

【請求項24】

前記初回刺激用組成物は、前記抗原をコードするプラスミドDNAを含む、請求項22に記載の方法。

【請求項25】

HIV env、gag、およびpol遺伝子、またはそれらの改変遺伝子をコードするプラスミド移入ベクターであって、該HIV env遺伝子が、gp120、ならびにgp41の膜貫通および外部ドメインから構成されるが、gp41の細胞質ドメインの一部またはすべてを欠如しているHIV Envタンパク質をコードするように改変されているプラスミド移入ベクターを調製し、請求項1～15のいずれか一項に記載の組成物を生産するために、MVAウイルスベクターにおいて前記プラスミド移入ベクターを組換えることを含む、請求項1～15のいずれかに記載の組成物を作製する方法。